

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題【解答例】

番号		氏名	
----	--	----	--

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【四段】

(1) 「打ち込み稽古と掛かり稽古」の相違点を説明しなさい。

打ち込み稽古は、打ち込む側が元立ちの与える打突部位を捉えて打ち込んでいくなかで、打突の基本的な技術を体得する稽古法である。

掛かり稽古は、掛かる側が積極的に相手を攻め崩して打突の機会をつくり、短時間のうちに気力、体力の限りを尽くして打ち込んでいく稽古法である。

(2) 「日本剣道形修錬の必要性（効果）」について述べなさい。

剣道形は、先人が英知を尽くして創造したものであり、長い歴史の過程で、理合や精神面に深い内容を持つまでに発達したものである。

日本剣道形を正しく継承して次代に伝えることは大きな意義があり、また、私たちの使命でもある。剣道形を繰り返し修錬することによって、剣道の基礎的な礼儀作法や技術、剣の理合を修得することができ、さらに内面的な気の働きや気位といった剣道の原理原則をも会得できる。このように剣道形は、剣道の規範となるものであることを深く認識し、平素から日本剣道形の修錬に努めることが大切である。